

校長室から・・・ NO36. R1.10.28

10月26日に行われたふれあいフェスティバル in 北播磨に出店するピザについての記事が神戸新聞に掲載されました。6校が共同し各市町の特産品と郷土料理を具材にして開発したピザです。社、小野、播磨農業、西脇北、三木北、多可の6校です。それぞれ、たきのナス、イチジク、ジャガイモ、黒田庄和牛と金ゴマ、かじや風カレー、播州百日どりを具材に選んだそうです。実際にどのように焼くのかも含めてとても楽しみにしていました。

迎えた26日当日は、雨上がりではありましたが三木防災総合公園の芝生はかなりの水を含んでおり足元が心配されました。私は開会行事に参加し、依藤さんの宣誓を見届け藤本百男同窓会長とともに高校生のブースに向かいました。そこでは、まちの駅多可施設長藤井さんが運び込んでいただいたピザ焼き機があり、本校生がピザの生地食材をのせ、播磨農業の生徒が焼くという作業をしていました。1枚焼くのに4.5分かかるとのことから私の注文した時には1時間後に出来上がるとのこと

でした。待っている間に本校生活科学科の生徒が作っている洋菓子やジャム販売ブースを覗くと西上教育長が来られており、本校のブースだけでなく家庭クラブのある



高校が出しているブースで高校生と話をされ、商品を買っておられました。現場の声を聞いていただき、本当にありがたい

と思っています。また、先日新聞発表もされた加東市に工場のある「株式会社マルヤナギ小倉屋」さんに協力してできた加東市のもち麦を使用した「スープで食べるもち麦」の販売ブースも覗くと関心を持たれている方も多く来られ、盛況でした。そしてできあがったピザをいただきました。1切れ食べてから気づいたので、出来上がり写真は右のようになりましたが、食材とソースのマッチが素晴らしく大変おいしい味でした。その後2時過ぎには用意した50食が完売。後ほど聞いた話では「スープで食べるもち麦」も用意した分は完売だったと聞きました。朝早くから準備し、後片付けまで、そして2日間連続という大変な仕事ですが、皆明るく積極的に取り組んでくれている姿に感心しました。引率の先生方も本当にありがとうございました。



そして本校書道部もステージパフォーマンスに出演。一般の方々の前でのしかも床ではなくパネルに立てかけて書くパフォーマンスはかなり緊張したと思います。三木の書道家の先生に指導いただきながら頑張ってきた成果を出すときですが、心配をよそに堂々と筆を走らせ素晴らしい作品を作り上げました。見に来ていただいた方々から多くの拍手をいただきました。前日のリハーサルは雨が残る中大変だったと思いますが、よく頑張りました。「故郷 魅力あふれる ふるさと北播磨 ともに未来に 夢を描こう」という作品です。皆さんお疲れ様でした。顧問の先生方もありがとうございました。



さらにJRC部が体操服を着てチラシ配りやゴミ拾い、トイレ清掃などのボランティアに参加していました。多くのブースを回ったのですが、本当に多くの仕事があるのが良く分かりました。本校生がお世話になっているところも多く出店されており、学校関係者や店関係者だけでなく多くの方々に知ってもらいたいイベントだと改めて思いました。準備に当たっておられる県民局の皆様や関係者の皆様お疲れ様でした。

早いものであつという間に10月が終了です。朝夕も秋の深まりを感じる季節になり、さらには日暮れも早くなりました。部活動では大きな試合の予選も進んでいます。一番活動に適した季節、自らをしっかりと磨くチャンスです。風邪をひかないように気を付けてチャレンジを続けてください。

